

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	国立療養所沖縄愛楽園	
薬剤部科URL	https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/hansen/airakuen/site/introduction.html	
キャッチコピー	医療だけでなく、ハンセン病に対する偏見や差別を知ることによって「人権」を今一度見つめ直せる場所です	
学生ハメッセージ	ハンセン病をご存じでしょうか？ハンセン病は末梢神経や皮膚が「らい菌」によって侵される感染症で、悪化すると皮膚の変色や体の変形を伴うこともあるため、その外見と感染に対する恐れから患者は差別の対象となり迫害されてきました。沖縄愛楽園はハンセン病の病態を学ぶだけでなく、その歴史を学ぶことで我々医療人としてのあり方を考えさせられる場所です。	
プロフィール	理念 「入所者・高齢者が安心して生活できる場の提供」 当園は沖縄本島北部の名護市屋我地島にある、昭和13（1938）年に開園されたハンセン病療養所です。入所者数84名、平均年齢87.24歳（2025年7月15日現在）と入所者数の漸減並びに高齢化が進んでいます。上記理念を達成するために職員が一丸となって、入所者がこころ豊かに生きるための援助（ライフサポート）に向けて日々活動しています。当園は専門医が不在の診療科も多く、そのため薬剤師はジェネラリストとしての能力が求められ、ハンセン病後遺症だけでなく、様々な疾患に対し最良の薬物治療を提供すべく取り組んでいます。当園薬剤師は入所者の「かかりつけ薬剤師」として入所者の人生最後の日まで関わり続けます。	
連絡先	0980-52-8331（内線：8221）	
アクセス	那覇市又は那覇空港より沖縄高速バスで所要時間約1時間40分、終点名護バスターミナルにて下車。 名護バスターミナルで名護市コミュニティバス（羽地・屋我地線）に乗換え、済井出バス停下車（所要時間32分・1日4便運行）、徒歩約10分。 タクシー利用の場合、名護市街より約32分（14.4km）。	
診療科目	内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、歯科、耳鼻咽喉科、精神科	
病床数	医療法許可病床数314床（令和7年9月11日付）（入院定床75床）	
病院の特徴	国立ハンセン病療養所	
アピールポイント	【設備】一包化薬剤監査システム、モバイル調剤監査支援システム、処方チェックシステムあり	
研修施設		
薬剤師数	3人	
薬剤師構成	（男女比）男性 2 ：女性 1	（年齢構成）40代 2名 50代 1名
認定資格・数	日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師：1名、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師：1名、日本臨床栄養代謝学会NST専門療法士：2名、日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師：1名	
臨床研究実績	【2024年度】第78回国立病院総合医学会：1演題、第83回九州山口薬学大会：1演題 【2023年度】第77回国立病院総合医学会：1演題、第16回日本緩和医療薬学会年会：1演題 【2022年度】第34回ハンセン病コ・メディカル学術集会：1演題、第76回国立病院総合医学会：1演題	
チーム医療活動	ICT、NST、緩和ケア、褥瘡ケア、認知症ケア	
院内保育園（連携含）	☐ 有 ☒ 無	